留学報告書
～タイで感じたこと～

コンケン大学
経済学部（中期）

私は 11 月から 3 月までの約 5 か月間タイのコンケン大学に留学しました。コンケンはバンコクほど都会ではありませんが、東北部に位置するイサーン地方の中ではもっとも発展した都市の一つだと感じました。また、コンケンはバンコクやチェンマイなどとは違い観光地ではないため、留学のような機会がないと中々訪れることのない地域だと思いました。しかしその分、より深いタイという国を感じることができました。そこで私が留学した大学や、日常生活、文化の違いの 3 つを紹介したいと思います。

初めにコンケン大学の授業の様子です。私は人文社会学部の英語学科で授業を受けていたのですが、教室は日本の大学のような 200 人規模の大きな教室はなく、大きくても 70 人くらいが入れる教室までしかありません。私は基本的に 30 人規模の小さな教室で授業を受けていました。また留学生が集まる授業を受けるのではなく、現地の学生と一緒に受け、先生はネイティブの先生が授業を行っていました。授業はタイ語で行うことはなく、すべて英語で行われ、タイ語が分からなくても問題なく進めることができました。私が受けた授業はアウトプットを行う授業が多く、ビジネスや国の文化に関連するプレゼンテーションやスピーチが多くありました。しかし、クラスメイトと議論をすることはあまりなく、協力して課題をこなすことの方が多かったです。また、タブレットを用いて授業を受けている学生が多く、授業の資料も紙での配布はなく、すべてデータでの配布になっていました。学生が書き込みやすいように作られているため、日本の大学から配布されたパソコンでは細かい作業に適しておらず、時々不便に感じることもありました。

次に日常生活についてです。平日の場合、昼ご飯は学食で食べるのですが、だいたい 30THB（約 150 円）でお腹いっぱい食べることができます。授業が終わると図書館で勉強をするか、学部のキャンパス内にある、LC という勉強や友人とのんびり話せる建物で宿題をしたり、休憩をしたりしていました。テスト期間に入ると図書館は 24 時間運営され、図書館に泊まりながら勉強などもしていました。授業後は友人とレストランやナイトマーケットなどで食事を済ませることが多くありました。移動手段はシャトルバスや Grab などさまざまありますが、基本的にはシャトルバスで移動していました。シャトルバスは路線が４つあるため、乗り換えることで素早く移動することができます。時間通りに来ることはあまりないのですが、本数が多いため問題なく移動することができました。休日はインターナショナルカレッジという学部の友人とバドミントンをして過ごしていました。彼

らとはオリエンテーションで出会い、それからは毎週のようにバドミントンをしていました。バドミントンが終わるとみんなでタイ料理や日本料理など幅広いご飯を食べに行きました。また、美術学部のイベントで学生が作った作品を購入することができたり、農学部の学生が作った植物や動物など見たり、購入したりすることができるイベントが多々あり友人の作品を見てまわることも多くありました。月に一度ほどのペースで、インターナショナルカレッジの友人や日本語学科の友人と旅行をしていました。授業があるため、週末に一泊か日帰り旅行が中心でした。湖や山を訪れたり、川で遊んだりするなど、町に行くというよりも、自然を感じられる旅行がほとんどでした。

次に文化についてです。タイでは人と人との距離感がとても近いと感じました。日本では男性同士、女性同士で行動することが多いように感じますが、タイでは性別に関係なく誰もが仲良くしており、ジェンダーの壁がないタイならではの文化で私自身、性別に関係なく多くの友人を作ることができ、とても良い文化だと感じました。食文化では大半の料理に辛さがあることが印象的でした。しかし、日本の辛い料理とは少し違い、食材本来のポテンシャルを引き出す食べ方がこの辛さだと実感するほどおいしく食べることができました。また学生が自炊をするという文化はあまりなく、私が住んでいたアパートや友人の住んでいた学生寮にはキッチンがありませんでした。そのため学生は、ナイトマーケットやレストラン、コンビニなどで食事を済ませたり、Grab で食事をテイクアウトしたりする人がほとんどでした。コンビニはセブンイレブンが主流で、100 メートル進むごとにセブンイレブンがあるのではないかと感じるほど数多くありました。また、タイは日本に比べると娯楽施設が少ないと感じました。タイでは、運動を趣味や娯楽としている人が多く、ボーリングなどはバンコクまでいかないとありません。スポーツはとても人気があり、いたるところに運動スペースがありました。その中でもバドミントンはほとんどの人が楽しむことができるスポーツで、タイでメジャーなスポーツとなっていました。

最後に、留学は日本にはないことを経験できる機会であり、異なる文化に触れる貴重な機会であると感じました。海外での生活をとおして、幅広い視野を持つことができ、将来においても非常に価値のある経験になったと思います。また、現地の友人やコンケン大学へ留学してきた他国の学生など、多くの人々と出会うことができました。私はコンケン大学に留学できて本当に良かったと感じています。